

平成30年10月入学

秋田大学大学院国際資源学研究所
資源ニューフロンティア特別教育コース
履修生募集要項

日 程 表

項 目	年 月 日
申 請 期 間	平成30年8月6日 (月) ~ 平成30年8月10日 (金)
選 考 日	別途通知
履修者の発表	別途通知

博士課程教育リーディングプログラムについて

博士課程教育リーディングプログラムとは

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

養成すべき人材像及び解決すべき課題の分類に応じ、「オールラウンド型（オールラウンドリーダー養成）」「複合領域型（複合領域リーダー養成）」「オンリーワン型（オンリーワンリーダー養成）」の3つの類型があり、秋田大学大学院国際資源学研究所が中心となって推進する「レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム」はオンリーワン型です。

博士課程教育リーディングプログラムでは、次のような力量を備え、広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーを養成することを明確に設定しております。

【広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーに求められる能力】

- ①確固たる価値観に基づき、他者と協働しながら、勇気を持ってグローバルに行動する力
- ②自ら課題を発見し、仮説を構築し、持てる知識を駆使し独創的に課題に挑む力
- ③高い専門性や国際性はもとより幅広い知識をもとに物事を俯瞰し本質を見抜く力

「レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム」について

昨今の資源問題は、資源価格の高騰、レアアース問題など資源の偏在や枯渇、供給の不安定性、生物多様性の保護などがグローバル化し、21世紀を生きる人類社会共通の課題になっています。資源を持たない我が国が熾烈な資源獲得競争を生き残るには、中長期的な視野に立ち優秀な人材を育てるべきですが、そのためには我が国の資源教育を強化し、世界水準に高めていく必要があります。

一方、資源開発が複雑化していることもあり、近年では国際関係、地域住民や文化の理解（異文化コミュニケーション）、レアアースを含む各種金属の生体・環境影響など幅広い知識と対応力、リーダーシップが求められ、リテラシーや倫理感を含めた総合的な人間力の涵養が必要とされています。

このような背景から、本プログラムでは資源の専門性と応用力、実践力を修得したグローバルリーダーの育成を目的とした「資源ニューフロンティア特別教育コース」を開設し、近年勃発したレアメタル・レアアース問題や資源の偏在性、僻地開発、鉱石品位の低下や生産環境の悪化といった21世紀の資源開発が抱える課題に俯瞰力をもって挑める人材、すなわち世界中の資源調査から最新の生産技術、あるいはレアメタル等の高度リサイクルシステムを牽引する総合力と専門知識を備え、英語力の強化、異文化理解を含めた国際的視野と独創性豊かな考察力、課題解決力、資源リテラシー、政策立案能力等を身に付けた「資源ニューフロンティアリーダー」を養成します。

「資源ニューフロンティア特別教育コース」について

秋田大学大学院国際資源学研究科の博士課程に、5年一貫教育システムとして開設したコースで、「地球資源学コース」と「資源開発素材コース」の2コースによって構成されます。

【地球資源学コース】

レアメタル等の金属資源、非金属資源、エネルギー資源などの起源と成因の解明をはじめ、地球化学と資源地質学を融合した教育研究を行うことで、天然資源の起源物質や生成機構、レアメタル・レアアースをはじめ金属資源の鉱床形成メカニズム、石油・メタンハイドレード等のエネルギー資源地質・堆積学、GPS・リモートセンシングを利用した各種地下資源の最新探査技術など、資源と地球化学の要素を通じた資源観について修得します。

【資源開発素材コース】

地球が包蔵するレアメタル等の資源生産、開発に不可欠な資源開発論、岩石力学、採鉱学、選鉱・資源処理工学、レアメタルを含む製錬・素材精製、新リサイクル技術とシステム設計、環境技術、プロジェクトマネジメントなどを基礎に、資源開発の経済性評価、マーケット分析を含めた資源生産技術、資源循環に関する包括的な知識・能力を修得します。

1. 募集人員

コース名	募集人員
地球資源学コース	若干名
資源開発素材コース	若干名

2. 申請資格

本学大学院の博士前期課程に入学または所属する者、もしくは博士後期課程1年次に入学する者で、かつ、次の要件を全て満たす者となります。

- (1) 本プログラムの趣旨を十分に理解する者
- (2) 本学大学院の博士後期課程に進学することを目指す者【注1】
- (3) 日本学術振興会(JSPS)特別研究員DC1に応募し、採択された場合には本プログラムに引き続き在籍を続けることを確約する者
- (4) 博士の学位記に本プログラムを修了したことが付記されることを了解する者

【注1】 博士前期課程修了後に企業に就職することを目指す学生はコース履修生となることはできません。

3. 学生支援制度

本プログラムでは、コース履修生が経済的な負担を軽減してより学業に専念できるよう、様々な学生支援制度(奨励金制度、ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント制度、海外派遣支援制度、インターンシップ支援制度)を用意しています。

4. 申請期間および申請書類提出先

(1) 申請期間：平成30年8月6日(月)～8月10日(金)(必着)

- ① 直接持参の場合は、9時から16時まで受け付けます。
- ② 郵送の場合は**簡易書留郵便**とし、封筒の表面に「**大学院国際資源学研究科資源ニューフロンティア特別教育コース履修申請書**在中」と朱書きし、郵便事情を考慮のうえ**8月10日(金)16時**まで必着するように送付してください。

(2) 申請書類提出先

秋田大学大学院国際資源学研究科リーディング事務局

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL (018) 889-2308

5. 申請手続

(1) 申請書類等

提出書類等	注 意 事 項
履修申請票	本研究科所定の履修申請票に必要事項を記入してください。
研究計画書	現在取り組んでいる研究テーマについて、進捗状況や目的、及び今後の構想を、本研究科所定の様式に1,000字(英文の場合500字)程度で記入してください。

(2) 申請にあたっての留意事項

- ① 申請書類等に不備がある場合には受理しませんので、記載事項に記入漏れ、誤記のないよう十分注意してください。
- ② 受理した申請書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 申請書類等に虚偽があった場合は、採用後でもコース履修生であることを取り消すことがあります。
- ④ 申請後、履修申請票に記載の「本人が諸通知を受ける場所」に変更があった場合は速やかに連絡してください。
- ⑤ 申請書類等にある研究計画書について、本研究科所定の用紙と様式が合致するようであれば、文書作成ソフト等を使用しても差し支えありません。

6. 選考方法

学力検査、面接試問、申請書類、及び大学院入試の成績を総合して判定します。

試験日時及び試験会場、集合場所等の詳細については、当事務局および指導教員から直接連絡いたしますのでそれに従ってください。

7. 注意事項

- (1) 申請者は、選考日当日の指定された時間までに指定された場所へ集合してください。
- (2) 遅刻限度は、選考開始後10分までです。
- (3) 会場ではすべて監督者の指示に従ってください。

8. 履修者の発表

履修者の発表日時については別途通知いたします。なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

9. その他

募集要項に関する照会は下記宛に行ってください。

記

〒010-8502

秋田県秋田市手形学園町1番1号

秋田大学大学院国際資源学研究科

リーディング事務局

TEL (018) 889-2308

平成30年10月入学
秋田大学大学院国際資源学研究科
資源ニューフロンティア特別教育コース履修申請票

受付番号	※		
ふりがな	生年月日	昭和・平成	年 月 日生
氏名	性別	(満 歳) 男・女	
出身大学	大学 卒業・卒業見込 (該当する方を○)		
出願資格 ※該当専攻に <input checked="" type="checkbox"/>	秋田大学 大学院国際資源学研究科	<input type="checkbox"/> 博士前期課程	資源地球科学専攻 資源開発環境学専攻 資源学専攻
志望コース名 ※該当コースに <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 地球資源学コース <input type="checkbox"/> 資源開発素材コース	希望指導 教員名	
本人が諸通知を 受ける場所	(〒 -)	(電話番号	- -)
上記以外の 連絡先	(〒 -)	(電話番号	- -)

記入上の注意

1. ※は記入しないでください。
2. 記入はペンまたはボールペンを用い楷書で記入してください。

(秋田大学大学院国際資源学研究科)

受付番号 ※

研 究 計 画 書

志望コース名 _____ コース

氏 名 _____ ④

研究課題又は研究分野	
研究計画の概要[1,000字(英文の場合500字)程度]	

【注】※印欄は記入しないでください。

〈裏面へ続く〉

